

### アデニウム (キョウチクトウ科)

アフリカ東部～アラビア半島原産。「砂漠のバラ」の名前で親しまれ、鮮やかな赤色花を咲かせます。乾燥地に適応した‘とっくり状’の株元となっています。

### ミナヅキ (アジサイ科)

ノリウツギの品種。両性花が多数、白色の花弁様の装飾花が少数のノリウツギに対し、白い円錐花序のほぼ全ての花が装飾花になります。

### 失われゆく草地の草花

かつて人里で慣れ親しんだ草地に生育する多くの草花が、開発や乱獲に加え、下刈り等人手が入らないことから灌木や背の高い草に覆われることで生育環境が悪化し、絶滅が危惧されています。うらら池畔では、日本～朝鮮半島原産で草原に自生し、球状の紫色の花を咲かせるヒゴタイ(キク科、絶滅危惧種)や、明るい湿地に生える多年草で、青紫色花を咲かせるヤチシャジン(キキョウ科、絶滅危惧種)などを御覧いただけます。ヤチシャジンについては世羅町の保全活動に当園も参加・協力しています。

### 世界の食虫植物展

広島食虫植物同好会のご協力により、おなじみハエトリグサ、ウツボカヅラを始め、サラセニアの豊富なコレクションを展示。

ヘリアンフォラやゲンリセア、ブロッキニア、カトブシスなどのなかなか見ることがない種類も御覧いただけます。

【展示温室にて  
～8/28】

### サギソウ (ラン科)

当園のシンボルマークでもあるサギソウをフクシア温室前に展示しております。暑い中涼やかに群れ咲く姿を御覧ください。

### 大温室改修のため休館

リニューアルオープンは平成29年秋ごろ(予定)です。

### 盛夏に咲く草花

カスケードの花壇には酷暑の夏にも咲き続けるペンタス、アンゲロニア、松葉ポタン、コンテナにはサンパティエンスなど花の少なくなるこの時期にも楽しむことができる花壇材料を紹介しています。

### 秋の七草

ハギ園の植栽を見直し、ハギのみではなくキキョウ、オミナエシといった秋の七草やネムノキなどマメ科の植物を御覧いただける植栽にリニューアルしております。

### ノリウツギと夏の植物展

花の少ないこの季節に咲くノリウツギの仲間を展示。ほかに見ごろの夏咲きの植物と共に展示します。【屋外展示場にて～8/31】

### ノアサガオのカーテン

(ヒルガオ科)

品種はオーシャンブルー。紫色の花が昼間でも咲いています。ツルは屋上まで到達して、高さ10m、幅50mの巨大カーテンとなっています。

